

新型インフルエンザワクチン接種についてのお知らせ

優先的に接種する方々について

次の優先接種対象の方から順に接種が開始されます。(それぞれの接種開始時期は、目安で変更があり得ます)

- ①医療従事者(救急隊員を含む)：10月後半から
- ②妊婦及び基礎疾患を有する方(この中でも、1歳から小学校低学年(3年生まで)に相当する年齢の方の接種を優先)：11月前半から
基礎疾患を有する方で最優先以外の方は12月前半から
- ③1歳から小学校低学年(3年生まで)に相当する年齢の方：12月後半から
- ④1歳未満の小児の保護者及び優先接種対象者のうち身体上の理由により予防接種が受けられない方の保護者等：1月上旬から
- ⑤小学校高学年(4年生以上)：1月中旬から
- ⑥中学生、高校生に相当する年齢の方、65歳以上の高齢者：1月下旬から

接種場所について

内科、小児科、産婦人科等の医療機関で受けられます。接種を行わない医療機関もあります。

接種費用について

接種費用は実費を徴収させていただきます。2回接種の場合、全国一律で1回目=3,600円、2回目=2,550円(1回目と異なる医療機関で接種する場合は3,600円)となります。所得の少ない世帯等に対して、費用負担の軽減を予定しています。

詳しくは、下野市健康増進課(☎52-1116)にお問い合わせください。

「こころの健康づくり講演会」を開催

9月10日からの自殺予防週間の最終日の16日、自殺予防対策事業の「こころの健康づくり」講演会をグリームの館で開催しました。

第一部は、林家ライス・カレー子による夫婦漫才で、約100人の来場者に「笑いをとおしてこころの健康を」と強調しました。

第二部は、下野市障がい者相談支援センター管理者の高井正己氏が、「今年7月末現在で全国の自殺者は1万9,859人である、毎年3万人以上が自ら命を絶っており、これは他人事ではありません。かけがえのない大切な心といのちのために、一人ひとりができることとは、次のとおりです。」

- ①見守り：「いつもと違うな」という変化に早めに気づき家族・職場・誰でも様子を見守る。
- ②声かけ：変化に気がついたら、声かけをする。
相手の訴えを真摯に受け止める。「死ぬ気になれば何でもできる」などの励ましはしない。
→どのように声かけしてよいかわからない時は、専門機関に相談する。

③専門機関(行政・相談支援センター・医療機関)の受診をすすめる。

最後に、「一人ひとりが役割を感じて対応することで地域の力を発揮し、こころの健康づくりを進めてください。」と講演しました。

